

令和 7 年度 宮城県循環器病対策推進協議会

第 2 期宮城県循環器病対策推進計画

－ 令和 6 年度事業実績と令和 7 年度事業計画の概要 －



宮城県保健福祉部健康推進課

全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

一次予防の取組強化（栄養・食生活）

令和6年度 実績

健康的で持続可能な食環境づくりの推進

- 自然に健康になれる食環境づくりの体制構築に向け、産学官関係者を対象とした情報交換会の実施
- 野菜摂取や減塩の啓発のため「みやぎベジプラスメニュー」の販売
- WEB広告、テレビ番組等とタイアップした健康情報の提供



みやぎベジプラスメニューの販売



産学官関係者を対象とした情報交換会

栄養・食生活に関する正しい情報の発信

- SNSやテレビ番組・ラジオ番組とタイアップした健康情報の提供
- 食生活改善推進員と連携した地域での食生活改善活動（高齢者向けの啓発等）
- みやぎ食育月間等での周知



野菜摂取に関するYoutubeでの啓発



食生活改善推進員と連携した活動



みやぎ食育月間等でのパネル展示

一次予防の取組強化（栄養・食生活）

令和7年度 事業計画

健康的で持続可能な食環境づくりの推進

- ・自然に健康になれる食環境づくりの体制構築に向け、産学官関係者を対象とした情報交換会及び研修会を実施
- ・県内大学及び企業と連携した「みやぎベジプラスメニュー」の販売
- ・各保健所管内における社員食堂等でのベジプラスメニューの販売及びベジプラス100&塩ecoの普及啓発
- ・WEB広告、テレビ番組等とタイアップしたベジプラス100&塩ecoの普及啓発



みやぎベジプラスメニュー販売会



ベジプラス100協力店・施設のマッピング



スーパーでのベジチェック®の設置

栄養・食生活に関する正しい情報の発信

- ・望ましい食生活（朝食摂取、食事の適量、バランスのとれた食事、適正飲酒）に関する啓発資料の作成
- ・食生活改善推進員等と連携した地域での啓発活動
- ・みやぎの食育通信やラジオ番組による栄養・食生活に関する正しい知識の発信



朝食摂取に関するYoutubeでの啓発



みやぎの食育通信による情報発信

一次予防の取組強化（身体活動・運動）

令和6年度 実績

身体活動や歩数増加の機会の増加

①デジタル身分証アプリ（ポケットサイン）のミニアプリとして「みやぎ健康ウォーク」の運用を開始（R6.5.7～）

- ・年代別に目標歩数が設定（20～64歳：8000歩、65歳以上6000歩）
- ・ユーザー間、市区町村内、同世代内の歩数ランキングなどが確認できる。
- ・5/7～7/31までキャンペーンを実施し、抽選でデジタルギフトを送付。
〔登録者数29,086人（R7.3.31時点）〕

②歩数アップチャレンジ2024

- ・10月～11月の2か月間の平均歩数を競うイベントを実施
＜事業所部門＞ 3人1組で事業所単位で参加
146事業所1,222チームが参加。参加者平均歩数 8,848歩
＜個人部門＞（ミニアプリ利用者含む）
4,374人参加。平均歩数6,759歩
- ・目標8,000歩を達成したチームや達成者に賞品をプレゼント



PHR（パーソナルヘルスレコード）の活用促進

③健康増進アプリの運用開始

- ・市町村国保の被保険者を対象として、歩数等のライフログや健診結果の可視化、個人の健康状態に応じた健康増進情報の提供を行う健康増進アプリ「kencom」の運用を開始（R7.3.12～）
〔登録者数 1,367人（R7.3.31時点）〕



一次予防の取組強化（身体活動・運動）

令和7年度 事業計画

身体活動や歩数増加の機会の増加

①春の歩数アップキャンペーン（5月～6月）

- ・目標歩数8,000歩以上の人に抽選で「みやぎポイント」をプレゼント



②歩数アップチャレンジ2025

- ・10月～11月の2か月間の平均歩数を競うイベントを実施
- ・目標8,000歩を達成したチームや達成者に賞品をプレゼント



PHR（パーソナルヘルスレコード）の活用促進

③健康増進アプリの運用開始

- ・登録者獲得に向け、各広報誌への掲載、市町村の健診や保健指導時又は健康イベント等でチラシの配布や登録会を実施する。
- ・健康づくりにつながるスポットを登録したデジタルマップ（公園、スポーツ施設等）を実装する。
- ・デジタルギフトが当たる登録キャンペーンを実施する。

賞品：スマートみやぎ健民会議応援企業の協賛品等



一次予防の取組強化（スマートみやぎ健民会議）

令和6年度 実績

①みやぎ食育と健康づくりフェスタ（R6.11.14）

- ・健康づくり優良団体表彰
- ・みやぎベジプラスメニュー商品化発表会
- ・健康づくりセミナー
「自然に健康になれる環境づくり
～地域で、職場で、身近でできること～」
講師 東北大学名誉教授
スマートみやぎ健民会議顧問 辻 一郎 氏
事例発表 1.5会、アルプスアルパイン株式会社仙台開発センター
- ・スマートみやぎ健民会議応援企業によるブース



令和6年度みやぎ食育と健康づくりのフェスタ

②スマートみやぎ健民会議 代表者会議

「第3次みやぎ21健康プラン」の普及と推進のため、5年ぶりに「代表者会議」を開催。（R6.11.14）

〔出席団体〕

医療関係団体（宮城県医師会、宮城県歯科医師会、宮城県薬剤師会、宮城県看護協会、宮城県栄養士会）、経済団体（宮城県経営者協会）、保険者（宮城県国民健康保険団体連合会、健康保険組合連合会宮城連合会、全国健康保険組合宮城支部）、報道機関（河北新報社、日本放送協会仙台放送局、東北放送、宮城テレビ放送、東日本放送、仙台放送、エフエム仙台）、学識経験者（東北大学大学院医学系研究科、東北大学大学院歯学研究科）、行政機関（宮城県町村会、東北厚生局、宮城労働局、東北農政局、東北経済産業局、宮城県保健福祉部）

〔内容〕

- ・話題提供「連携と協働による、これからの宮城の健康づくり」
東北大学名誉教授、東北大学大学院医学系研究科客員教授
厚生科学審議会 健康日本21推進専門委員会 委員長
スマートみやぎ健民会議 顧問 辻 一郎 氏
- ・説明「第3次みやぎ21健康プランと今後の取組」
- ・意見交換「各団体における健康づくりの取組について」



代表者会議



(参考) スマートみやぎ健民会議

「スマートみやぎ健民会議」は、健康づくりを県民運動として推進するための組織。



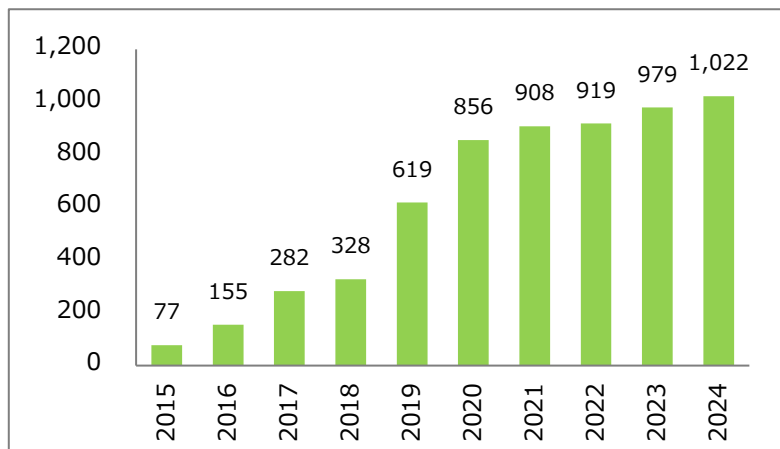
「みやぎヘルスサテライトステーション」は、県民の皆様が買い物帰りなど日常生活の中で気軽に健康づくりに取り組める拠点。

〔登録施設〕
ショッピングセンター、ドラッグストア、薬局、スポーツ施設など

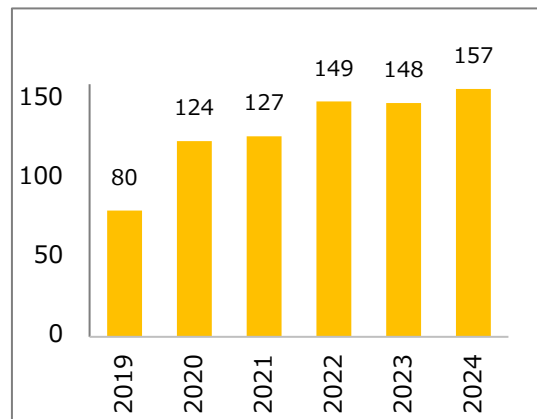
スマートみやぎ健民会議登録状況

（一般会員：1022，優良会員：28、応援企業：53、みやぎヘルスサテライトステーション157（R7.3.31時点））

スマートみやぎ健民会議一般会員



みやぎヘルスサテライトステーション登録数



健康チェックコーナーの設置

一次予防の取組強化（スマートみやぎ健民会議）

令和7年度 事業計画

みやぎ健康月間（11月）による健康づくりの取組

①みやぎ食育と健康づくりフェスタ（R7.11.4）

- ・健康づくり優良団体表彰
- ・みやぎベジプラスメニュー商品化発表会
- ・健康づくりセミナー
- ・スマートみやぎ健民会議応援企業によるブース
- ・スマートみやぎ健民会議10周年記念パネル展示

②スマートみやぎ健民会議登録企業の拡大

- ・一般会員、優良会員
- ・応援企業
- ・みやぎヘルスサテライトステーション

関係団体、企業、市町村とともに健康づくりの取組をホームページで共有し、健康づくりへの機運醸成を図る。



みやぎ食育と健康づくりフェスタ



令和7年度 健康づくり 取組募集

11月は「みやぎ健康月間」です！
事業所等で恒例の取り組み、新しく始めた取り組み、いちおしの健康づくり事業を共有しましょう！
※ 掲載いただいた取組はホームページで紹介いたします。

募集内容/期間	①11月に実施予定の取組：9月30日（火）まで ②11月に実施した取組：12月19日（金）まで
掲載内容	栄養・食生活、身体活動・運動、たばこ、歯科、心の健康、がん・循環器病に関すること
送付先/取組例等	詳細はこちらから御確認ください！ https://www.pref.miyagi.jp/sochiki/kensui/miyagi-kankougokan.html#torikumi

〒980-0855 宮城県保健福祉部健康推進課健康推進第二課 TEL: 022-211-2624 MAIL: kensui-k2@pref.miyagi.lg.jp

一次予防の取組強化

令和6年度 実績

受動喫煙及び喫煙の健康影響に関する周知・広報

①世界禁煙デー及び禁煙週間

- ・イエローグリーンライトアップ
(R6.5.31)
- ・世界禁煙デー及び禁煙週間パネル展
(R6.5.31～R6.6.6)

②受動喫煙防止宣言施設登録制度

民間施設による受動喫煙防止対策を促進するため、仙台市及び全国健康保険協会（協会けんぽ）宮城支部とともに「受動喫煙防止宣言施設登録制度」を実施

【登録の基準】

- ・敷地内、屋内を終日禁煙にしていること
- ・禁煙である旨を利用者に分かりやすく表示していること など

③禁煙支援に係る情報発信

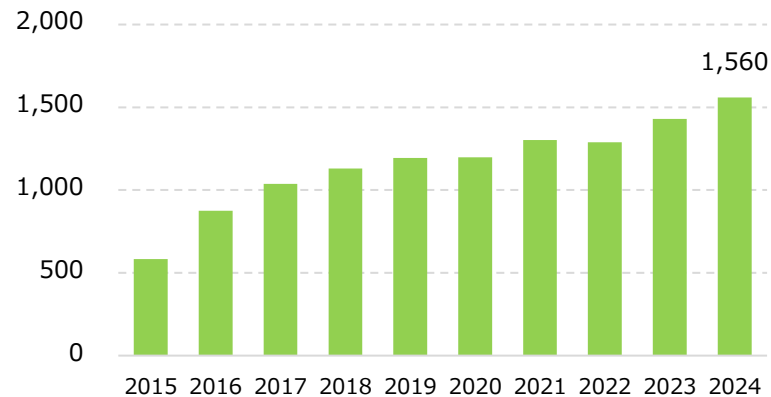
- ・県HPを活用し禁煙支援に関する情報を発信
- ・モデル市町村（七ヶ浜町）への禁煙支援のコンサルテーションを通じ、特定健診の場での禁煙支援を実施



令和6年度イエローグリーンキャンペーン（三井アウトレットパーク 仙台港、角田市）
※イエローグリーンは「受動喫煙をしたくない、させたくない」という気持ちを表す色



受動喫煙防止宣言施設登録数（累積）の年次推移



施設登録数 1,560施設（R7.4.1現在）

一次予防の取組強化

令和7年度 事業計画

受動喫煙及び喫煙の健康影響に関する周知・広報

①喫煙の健康影響に関する啓発

- ・イエローグリーンライトアップ
(R7.5.30)
- ・世界禁煙デー及び禁煙週間パネル展
(R7.5.31～R7.6.6)
- ・啓発動画「受動喫煙をご存知ですか？」
を作成
(学校向けの出前講座での活用及び
県HPでの公開を予定)



令和7年度イエローグリーンキャンペーン（宮城県庁）

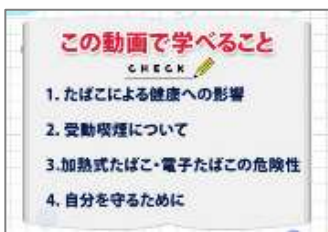
②受動喫煙が生じない環境づくり

受動喫煙防止宣言施設登録制度
(R7.11.1現在 1,621施設が登録)



③禁煙支援に係る情報発信

- ・県HPを活用し禁煙支援に関する情
報を発信
- ・モデル市町村への禁煙支援のコンサル
テーションを通じ、特定健診の場
での禁煙支援を実施



動画のイメージ（作成中）



令和7年度喫煙習慣 パネル展（宮城県図書館）

全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

健診の普及や取組の推進

令和6年度 実績

特定健診等の重要性の県民への普及啓発（宮城県保険者協会による普及啓発活動）

特定健診受診率及び特定健診保健指導実施率を高めるため、特定健診等の重要性を普及啓発するポスターを保険者協会会で1,350枚作成し、各保険者、医療機関、スーパー等に掲示。

宮城県特定健診・特定保健指導従事者育成研修会

健診・保健指導を効果的に実施できるよう、特定健診・特定保健指導従事者に対して研修を行い、生活習慣病対策全体を効果的に推進できる人材を育成。

初任者編（オンデマンド配信）	R6年11月18日～R6年11月29日
経験者編（対面）	R7年2月14日



県民向けポスター

令和7年度 事業計画

特定健診等の重要性の県民への普及啓発

普及啓発ポスター及びWebバナー広告を作成

宮城県特定健診・特定保健指導従事者育成研修会

基礎編	R7年6月23日～
	R7年7月31日
実践編	R7年8月5日
事業企画・評価編	R7年11月10日



Webバナー広告



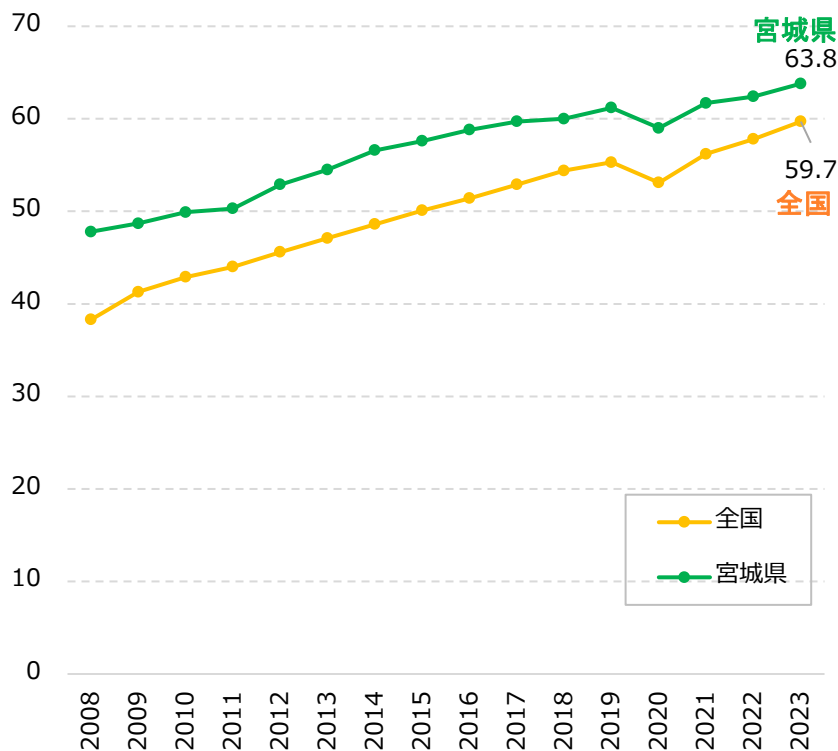
県民向けポスター



従事者育成研修会

特定健診、保健指導の実施状況（全国と宮城県）

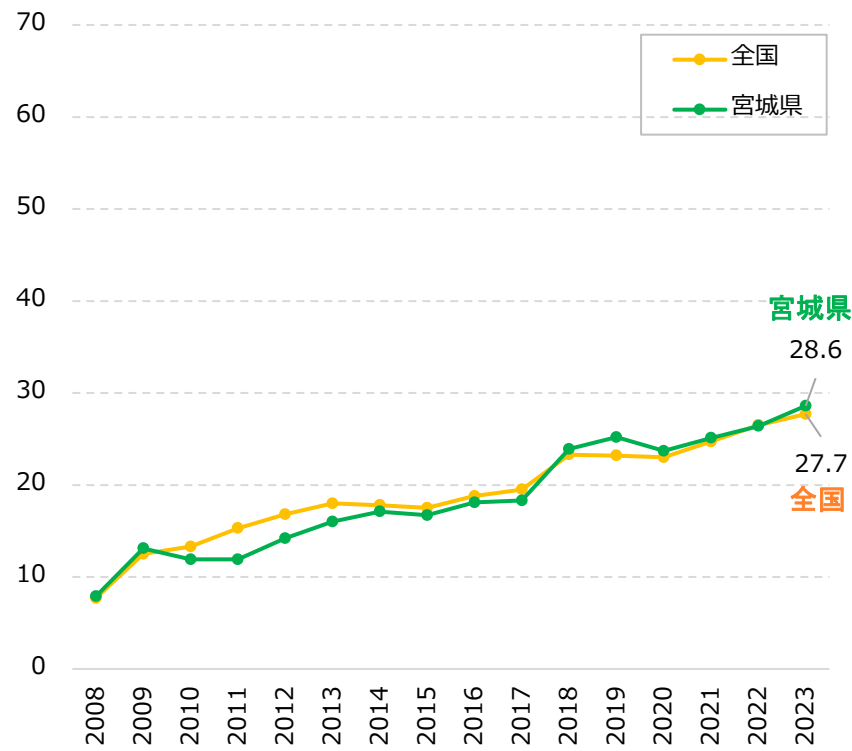
特定健康診査受診率の年次推移



特定健診とは

生活習慣病の予防のために、対象者（40歳～74歳）の方にメタボリックシンドロームに着目した健診を行います。

特定保健指導実施率の年次推移



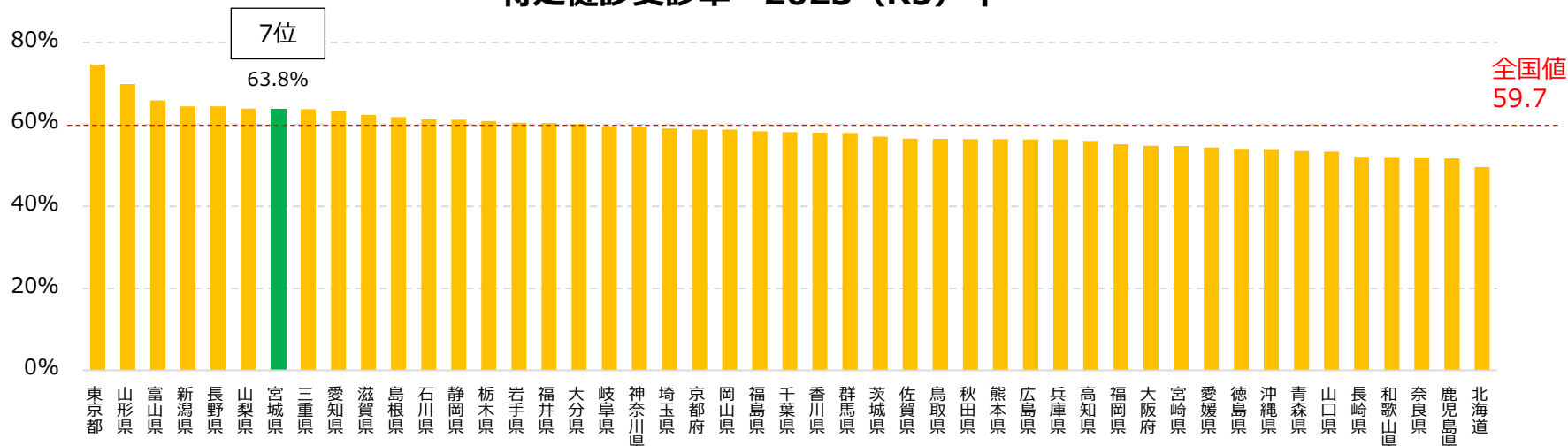
特定保健指導とは

生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、専門スタッフ（保健師、管理栄養士など）が生活習慣を見直すサポートをします。

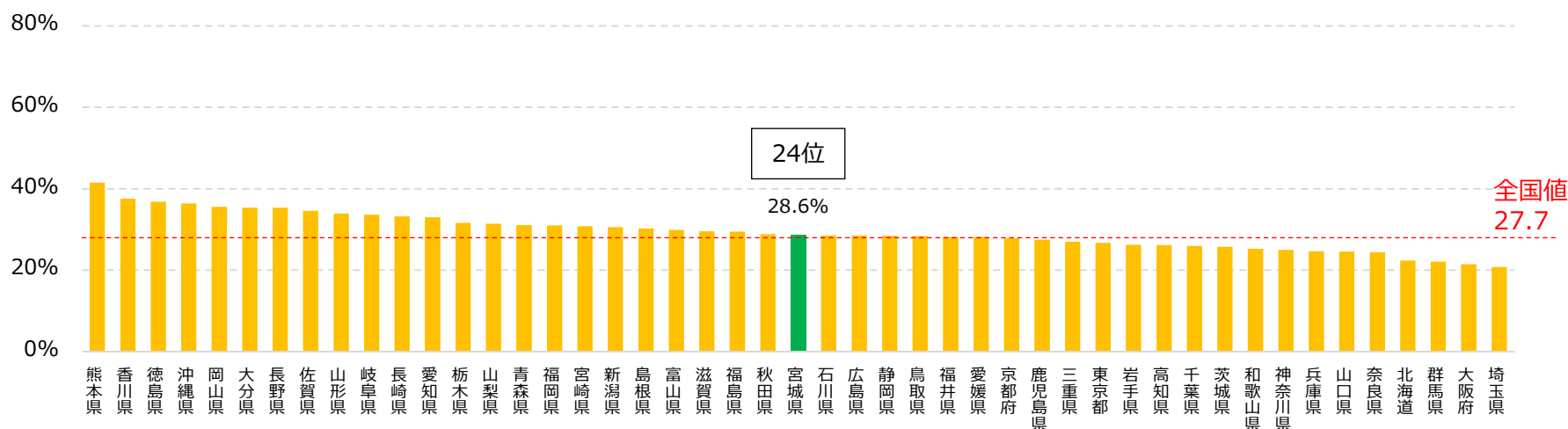
全国順位	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
特定健診受診率	2	2	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	7
保健指導実施率	30	26	40	44	44	37	35	35	33	35	31	26	29	31	31	24

特定健診、保健指導の実施状況（都道府県順位）

特定健診受診率 2023（R5）年



特定保健指導実施率 2023（R5）年



出典：特定健診・特定保健指導に関するデータ（厚生労働省）から県でグラフ化

全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

救急搬送体制の整備

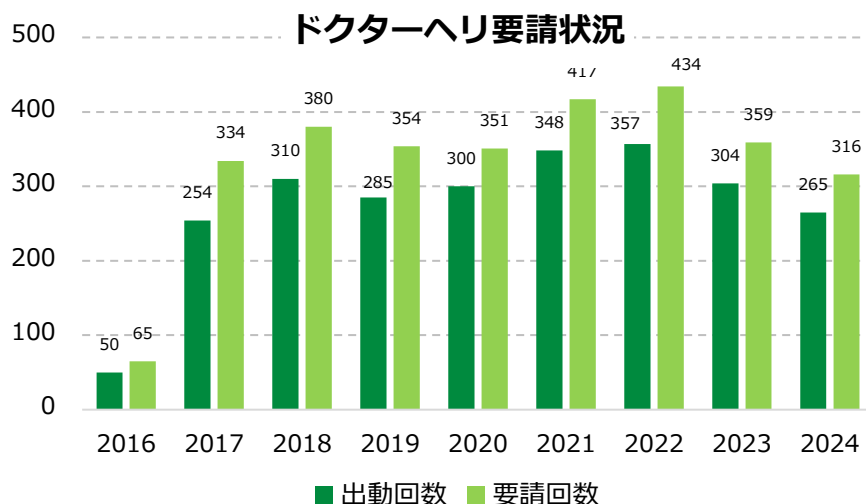
令和6年度実績と令和7年度実績

ドクターヘリの運航

基地病院（仙台医療センター及び東北大学病院）、消防機関及び医療機関等と連携し、宮城県ドクターヘリを運用。



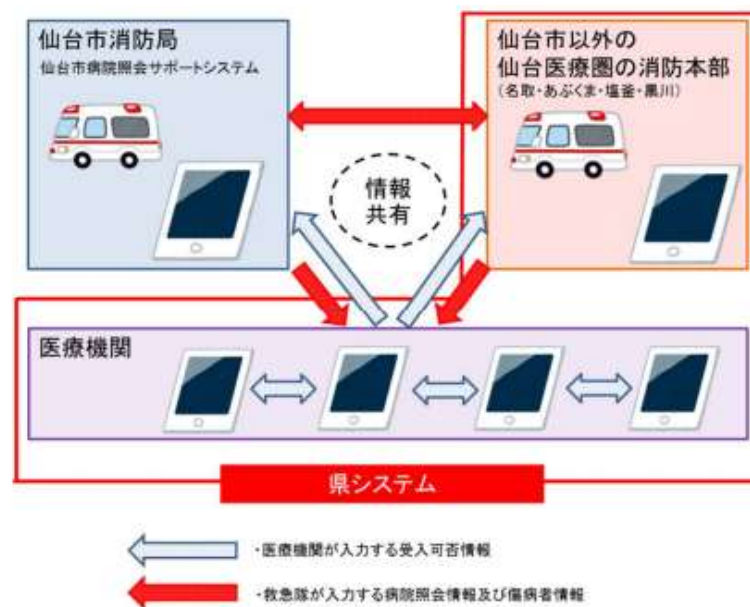
平成28年10月28日 運航開始



救急搬送情報共有システムの運営

仙台医療圏の消防本部（救急隊）や救急医療機関が入力する情報により救急搬送の効率化を図るシステム「宮城県救急搬送情報共有システム」を運用。

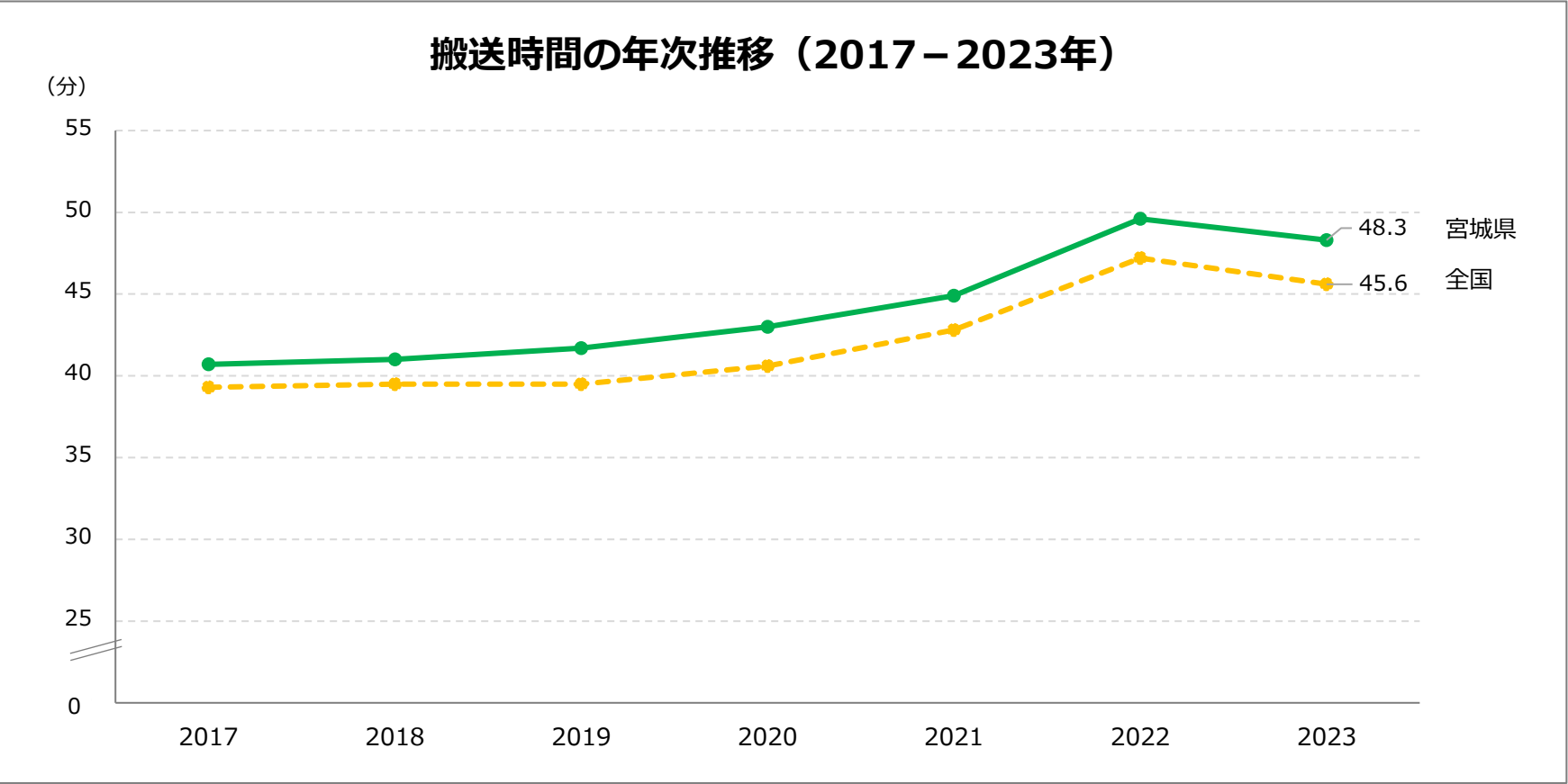
仙台市消防局のシステムに、名取・あぶくま・塩釜・黒川の4消防本部が連携して、救急隊の照会結果・搬送情報や、医療機関の情報をリアルタイムで共有している。



平成31年4月23日 運用開始

救急搬送時間の年次推移（全国・宮城県）

搬送時間（現場から病院収容所要時間）の年次推移



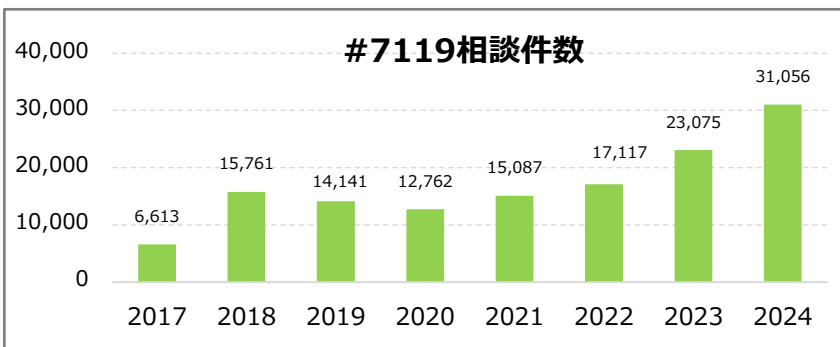
搬送時間 (分)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
宮城県	40.7	41	41.7	43	44.9	49.6	48.3
全国平均	39.3	39.5	39.5	40.6	42.8	47.2	45.6

出典 総務省消防庁「救急搬送における医療機関の受入れ状況等実態調査の結果」

(参考) 救急搬送体制の整備

おとな救急電話相談（#7119）

急な病気やけがで、救急車を呼んだ方が良いのか迷うときや、応急処置の方法が知りたいときの相談ダイヤルを開設。看護師などが対処方法について助言するほか、受診の必要性、受診可能な医療機関を案内。

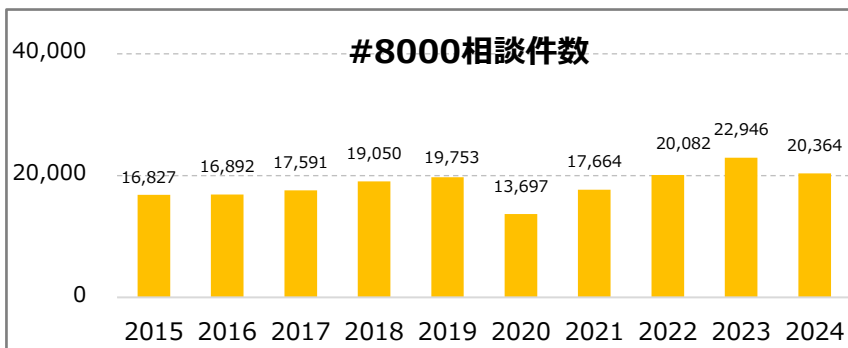


※H29年10月開設



宮城県こども夜間安心コール事業（#8000）

お子さんが急な病気になったときに、夜間の電話による医療相談を行い、保護者の方々の不安解消と、病状に応じた適切な対応を図り、初期救急医療の充実を図る。



※H17年9月開設



全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

令和6年度 実績

2024年2月 第5回宮城県移行期医療支援体制検討委員会で、
宮城県成人移行支援センターの設置を決定

2024年9月 宮城県立こども病院に設置

宮城県成人移行支援センターの概要

開設日 令和6年9月2日
設置場所 宮城県立こども病院内
職員配置 センター長・成人移行支援コーディネーター
委託先 宮城県立こども病院
業務内容
・医療機関情報の収集・整理
・小慢患者等・家族及び医療機関に対する相談支援
・講演会・研修会の開催



令和7年度 事業計画

相談支援実績
(相談方法・対象別件数R7.4～9月)

区分	相談件数		合計
	院外 電話/web	院内 電話/面談	
患者	0	154	154
家族	3	98	101
小児医療機関	0	0	0
成人医療機関	0	25	25
その他	1	8	9
合計	4	285	289

患者家族・医療従事者向け講演会
(R7.12.7)

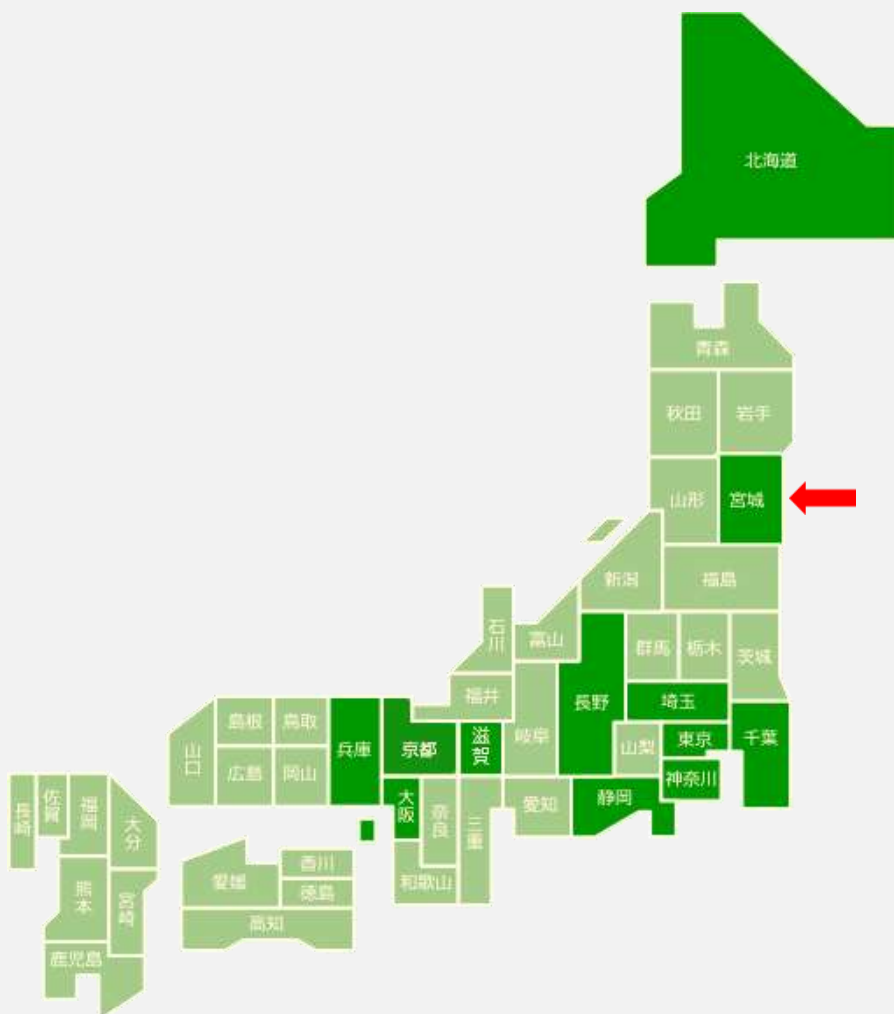


県内医療機関情報収集・ネットワークづくり

患者調査：
県内医療機関（泌尿器科）
成人医療機関訪問：
こども病院患者移行先医療機関の訪問
など

(参考) 移行期医療支援センターの設置状況

移行期医療支援センターマップ



2025年12月現在 センター設置自治体数 12箇所
宮城県は全国で10番目に設置

	各都道府県の名称	委託先・設置場所
1	北海道移行期医療支援センター	北海道医療センター
2	宮城県成人移行支援センター	宮城県立こども病院
3	東京都移行期医療支援センター	東京都立小児総合医療センター
4	かながわ移行期医療支援センター	かながわ県民センター
5	埼玉県移行期医療支援センター	埼玉県立小児医療センター
6	千葉県移行期医療支援センター	千葉大学医学部附属病院
7	静岡県移行期医療支援センター	静岡県立こども病院
8	長野県移行期医療支援センター	信州大学医学部附属病院
9	大阪府移行期医療支援センター	大阪母子医療センター
10	兵庫県移行期医療支援センター	神戸大学医学部附属病院
11	京都府移行期医療支援センター	京都府立医科大学附属病院
12	滋賀県移行期医療支援センター	滋賀医科大学医学部附属病院

移行期医療支援センターとは、国が「都道府県における小児慢性特定疾病の患者に対する移行期医療支援体制の構築に係るガイド（平成29年10月25日健難発1025第1号）」において、移行期医療の各関係機関の調整や患者自律（自立）支援など、移行期医療を総合的に支援する機能を有する拠点として、各都道府県に1つ以上設置することを求めているものです。

(余白)

全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

脳卒中・心臓病等総合支援センターとは

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

1 事業の目的

○循環器病対策推進基本計画で、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を進めることとしているが、これまでに都道府県が医療計画などで実施している対策よりも幅広い内容であり、各医療施設で個々の取組はされているものの情報が行き渡っているとはいえず、全ての支援について、十分なレベルで提供することに対して課題がある。

○この取組を効果的に推進するため、専門的な知識を有し、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、都道府県と連携しつつ、地域の医療機関と勉強会や支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化し、包括的な支援体制を構築することにより、地域全体の患者支援体制の充実を図ることを目的とする。

2 事業の概要・スキーム

【補助率：定額（10/10相当）】

＜事業の概要＞ 都道府県の循環器病対策推進計画等を踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。

- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置（電話、メール相談を含む）
- ・地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
- ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ・相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
- ・その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

＜期待される効果＞

- ・地域医療機関の診療及び患者支援機能の向上が可能となる
- ・国民がワンストップで必要な情報を得られるとともに、より効率的かつ質の高い支援が可能となる

脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討



3 実施主体等

◆実施主体：各都道府県において、脳卒中・心臓病等の循環器病に対する中心的な役割を担う医療機関

①先天性疾患に対する診療、外来リハビリテーション、緩和ケア等、循環器病に対する総合的な診療を行える施設であり、地域の病院、かかりつけ医などとも密接に連携が取れること
②自治体との密な連携が取れ、循環器病の後遺症を有する者に対する支援及び治療と仕事の両立支援・就労支援を行っていること

◆1箇所あたり：1,800万円程度

◆事業実績：令和7年度 採択数12医療機関（10県）
令和6年度 採択数14医療機関（12都道県）
令和5年度 採択数16医療機関（15府県）
令和4年度 採択数12医療機関（10府県）

47都道府県すべてで事業実施

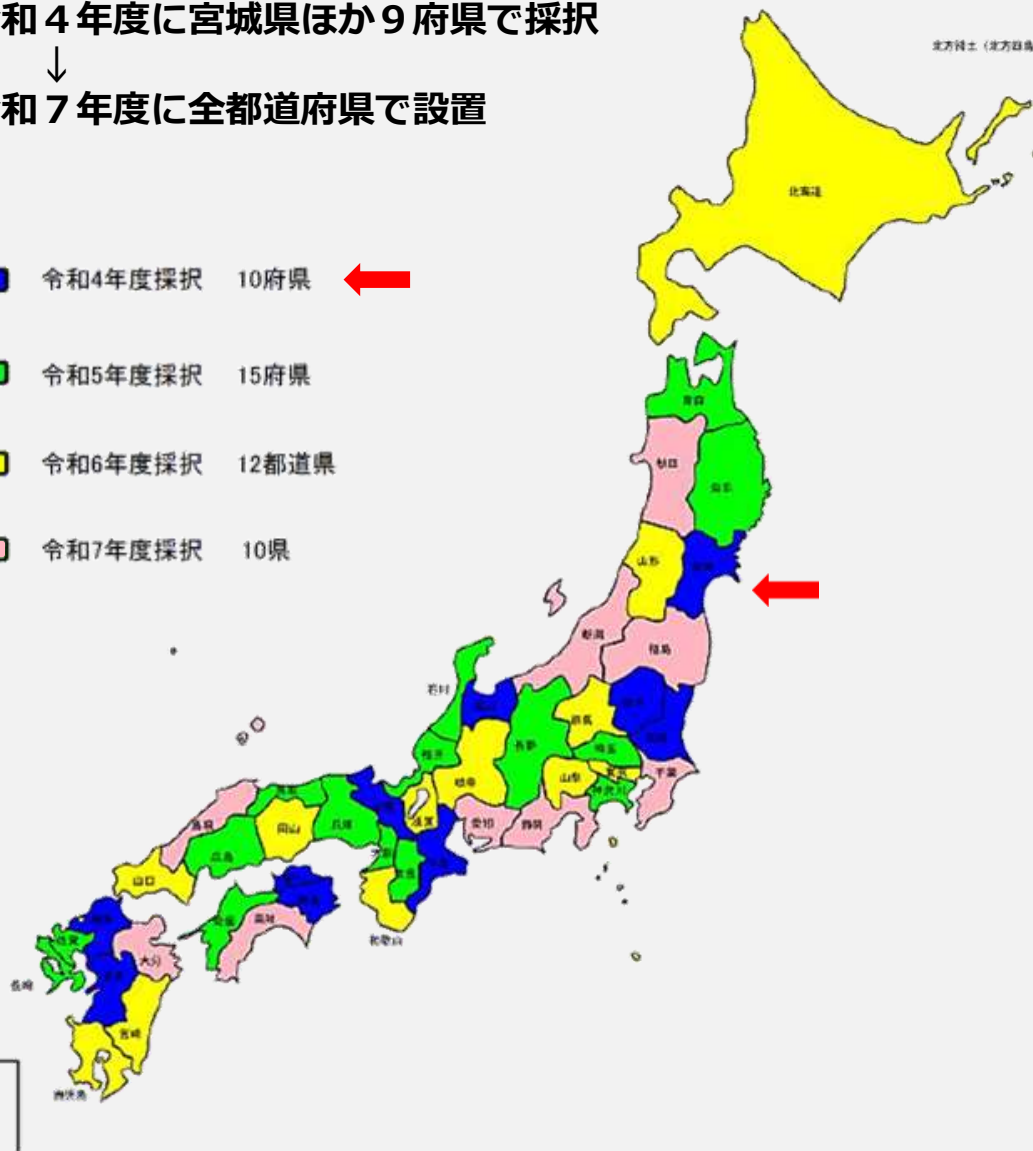
全国の脳卒中・心臓病等総合支援センター設置状況

令和4年度に宮城県ほか9府県で採択



令和7年度に全都道府県で設置

- 令和4年度採択 10府県 ←
- 令和5年度採択 15府県
- 令和6年度採択 12都道県
- 令和7年度採択 10県



年度	都道府県名	医療機関
R4	宮城県	東北大学病院 ←
	茨城県	筑波大学附属病院
	栃木県	獨協医科大学病院、自治医科大学附属病院
	富山県	富山大学附属病院
	三重県	三重大学医学部附属病院
	京都府	京都府立大学附属病院、京都大学医学部附属病院
	徳島県	徳島大学病院
	香川県	香川大学医学部附属病院
	福岡県	国立病院機構九州医療センター
	熊本県	熊本大学病院
R5	青森県	弘前大学医学部附属病院
	岩手県	岩手医科大学附属病院
	埼玉県	埼玉医科大学国際医療センター
	神奈川県	東海大学医学部附属病院（聖マリアンナ医科大学病院に変更）
	石川県	金沢大学附属病院
	福井県	福井大学医学部附属病院
	長野県	信州大学医学部附属病院
	大阪府	国立循環器病センター
	兵庫県	神戸大学医学部附属病院、神戸市立医療センター中央市民病院
	奈良県	奈良県立医科大学附属病院
	鳥取県	鳥取大学医学部附属病院
	広島県	広島大学病院
	愛媛県	愛媛大学医学部附属病院
	佐賀県	佐賀大学医学部附属病院
	長崎県	長崎大学病院
R6	北海道	北海道大学病院
	山形県	山形大学医学部附属病院
	群馬県	群馬大学医学部附属病院
	東京都	日本医科大学付属病院、神原記念病院、武蔵野赤十字病院
	山梨県	山梨大学医学部附属病院
	岐阜県	岐阜大学医学部附属病院
	滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院
	和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院
	岡山県	岡山大学病院
	山口県	山口大学医学部附属病院
	宮崎県	宮崎大学医学部附属病院
	鹿児島県	鹿児島大学病院
	秋田県	秋田大学医学部附属病院、秋田県立循環器・脳脊髄センター
	新潟県	新潟大学医学部総合病院
R7	千葉県	千葉大学医学部附属病院
	静岡県	浜松医科大学医学部附属病院
	島根県	島根大学医学部附属病院
	高知県	高知大学
	大分県	大分大学医学部附属病院
	沖縄県	琉球大学病院
	福島県	福島県立医科大学
	愛知県	名古屋大学医学部附属病院、藤田医科大学病院

出典：厚生労働省 第7回循環器病総合支援委員会（令和7年9月4日）資料より抜粋

宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター（東北大学病院内）

令和4年度の国のモデル事業で東北大学病院が設置したセンターは、令和5年度以降、県が実施主体として継続設置。

令和6年度 実績

循環器病患者・家族等の相談支援窓口の設置

R6年度 相談件数（延べ） 959件

地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会

R6年度 30回開催（東北大学病院循環器生涯教育講座など）

地域住民を対象とした情報提供、普及啓発

場所	参加人数	備考
大和町（7/13）	65人	脳卒中テーマ 大和町・大郷町共催
大郷町（7/21）	45人	心臓病テーマ 大郷町・大和町共催
美里町（8/29）	136人	心臓病テーマ 美里町共催
丸森町（11/14）	74人	脳卒中テーマ 丸森町共催
仙台市（3/9）	102人	循環器病全般（全県民対象）

R6年度から各地域で開催する県民公開講座は、開催地の市町村と共催で開催

リーフレット等の普及啓発資材の開発

- ・循環器予防リーフレット作成、県内医療機関等に配布
- ・センター紹介動画作成、公開中



相談窓口（東北大学病院）



医療従事者向けの研修会



県民公開講座

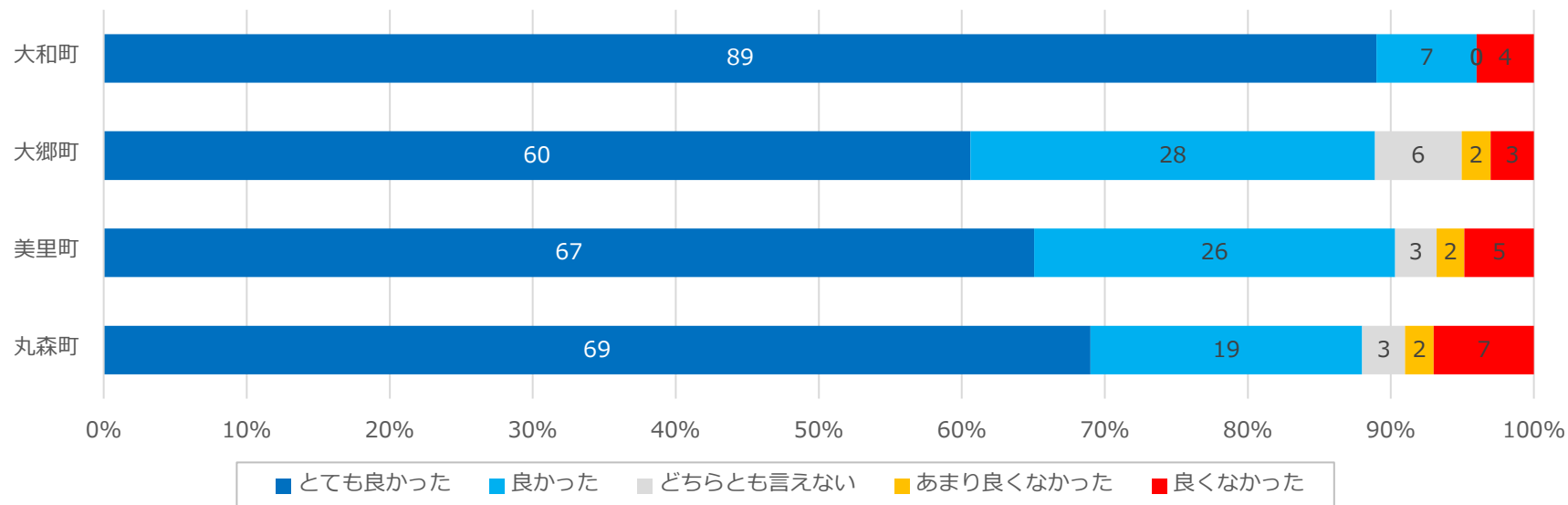


動画のイメージとリーフレット



(参考) 県民公開講座の評価

R6年度 県民公開講座 アンケート結果（イベント全体に関する評価）



主な自由意見

大和町	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県は脳卒中の割合が全国と比べて高いという現状を知れたのが大きな学びだった ・とても病気に対しての説得力があり、益々気を付けなくてはと実感、再度強くなりました。他の人にも教えてあげたいです。 ・カラー映像・写真が多くありとても分かりやすかった。今まで受けた脳卒中関連の講義講演の中で一番分かりやすかったです。
大郷町	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ若い世代の方々にも聞いてほしい内容だと思いました。 ・病気の話は難しいことが多いが分かりやすく、日々の薬、生活の大切さを教えていただけて良かった。 ・生活習慣について改めて見直す機会をいただきありがとうございました。
美里町	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもわかりやすいお話でした。資料がすごく分かりやすい。 ・生活習慣病に高血圧、糖尿病もかかっているので予防が大切を実感しました。 ・美里町の現状と健康課題について理解することができた。喫煙は死亡リスク、心筋梗塞リスクを高めることが分かった。 ・美里町は野菜は作るが、食べる量が少ないのがデータでよくわかりました。日々の食事の中で新鮮な野菜を食べよう努めたい。
丸森町	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病・高脂血症・中性脂肪・コレステロール、全て気を付けなければならない事を思い知らされました。大変勉強になりました。 ・とてもわかりやすい説明でドキドキしながら聞いていました。自宅でももう一度資料を読み、考え、実行してみたいと思いました。 ・いつも話は聞いているが、今回は1番わかりやすかった。ありがとうございます。

(参考) 相談窓口の設置と相談件数

主な事業内容

■ 循環器病患者・家族等の相談支援窓口の設置

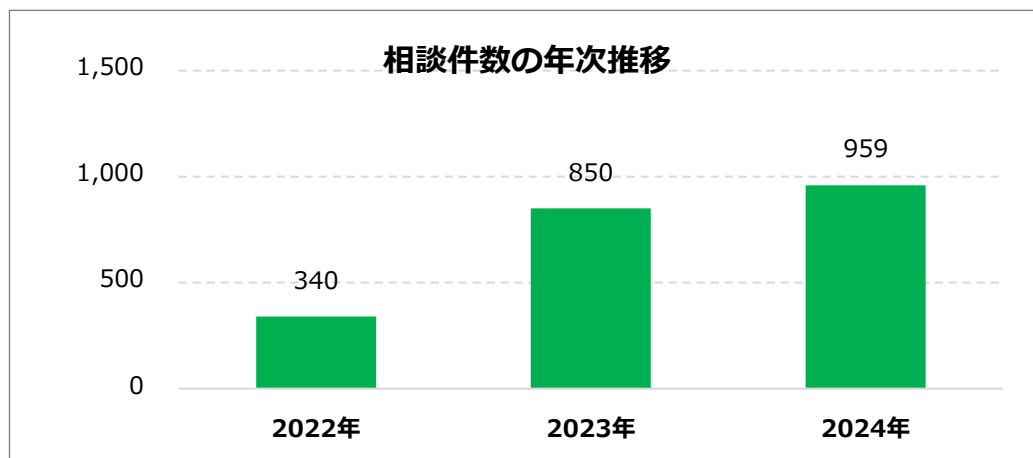
- 【支援内容】
- ・医療、介護、就労、障害等に関する情報提供と相談支援
 - ・療養に当たっての不安、悩み等への心理サポートの提供
 - ・ピアサポート、患者会、家族会の情報提供
 - ・リハビリ、就労支援等の他の専門機関の紹介

【対象】 県内の循環器病患者とその家族等

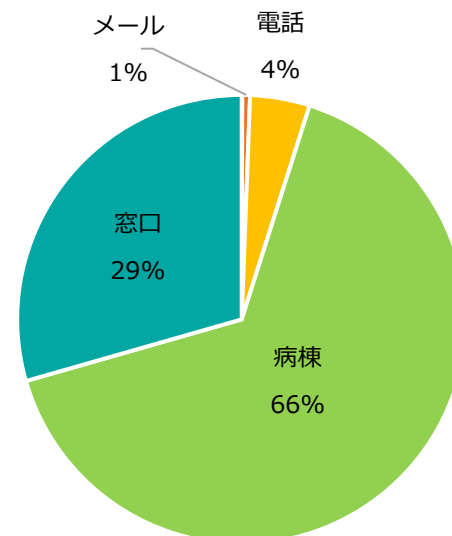
【相談員】 脳卒中専門医資格を持つ常勤医師 1 名、循環器専門医資格を持つ常勤医師 1 名、脳卒中に精通した常勤看護師、循環器病に精通した常勤看護師、常勤医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）各 1 名

【開設時間】 月～金曜日（土・日・祝日・年末年始は除く。）8：30～17：15

【相談方法】 面談、電話・メール相談

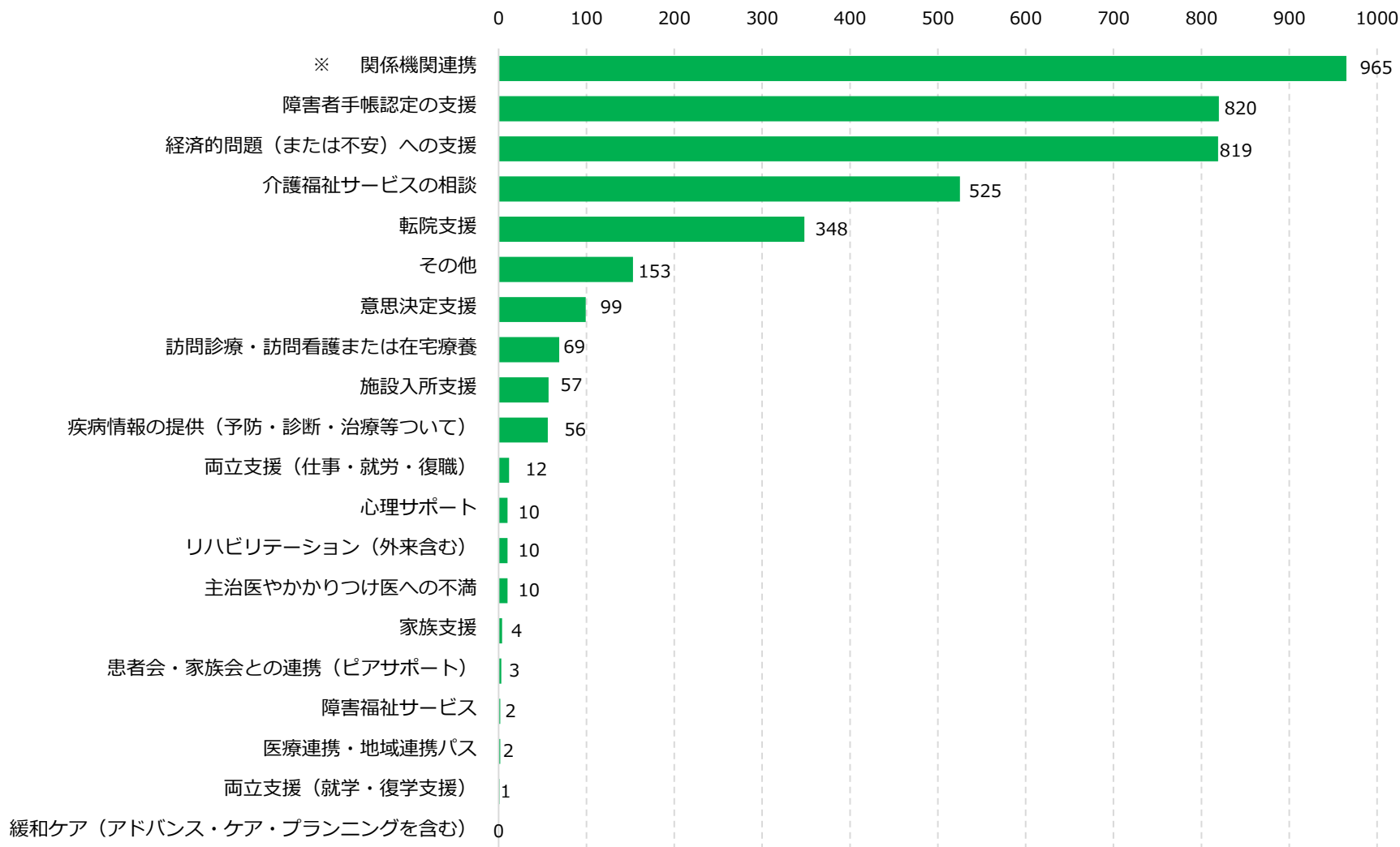


2022（R4）年度は10月～3月まで



(参考) 相談件数と相談内容

相談内容件数 (2022.10～2025.8)



※【関係機関連携】院内のスタッフ、医療機関、介護施設、公的機関等との情報提供や問い合わせ対応

宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター（東北大学病院）

令和7年度 事業計画

地域住民を対象とした情報提供、普及啓発

市町村（共催）からの要望により、講師の職種などを選定

場所	参加人数	備考
利府町（6/14）	73人	脳卒中テーマ（講師：医師、理学療法士、管理栄養士、薬剤師）利府町共催
登米市（9/2）	86人	心臓病テーマ（講師：医師、薬剤師、管理栄養士）登米市共催
石巻市（11/21）	429人	心臓病テーマ（講師：医師、管理栄養士）石巻市・東松島市・女川町共催
仙台市（2/14）	—	循環器病全般（講師：医師、理学療法士）全県民対象



県民公開講座

リーフレット等の普及啓発資材の開発

→ 小中学生向けの漫画の制作（生活習慣病と循環器病予防をテーマ）

全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

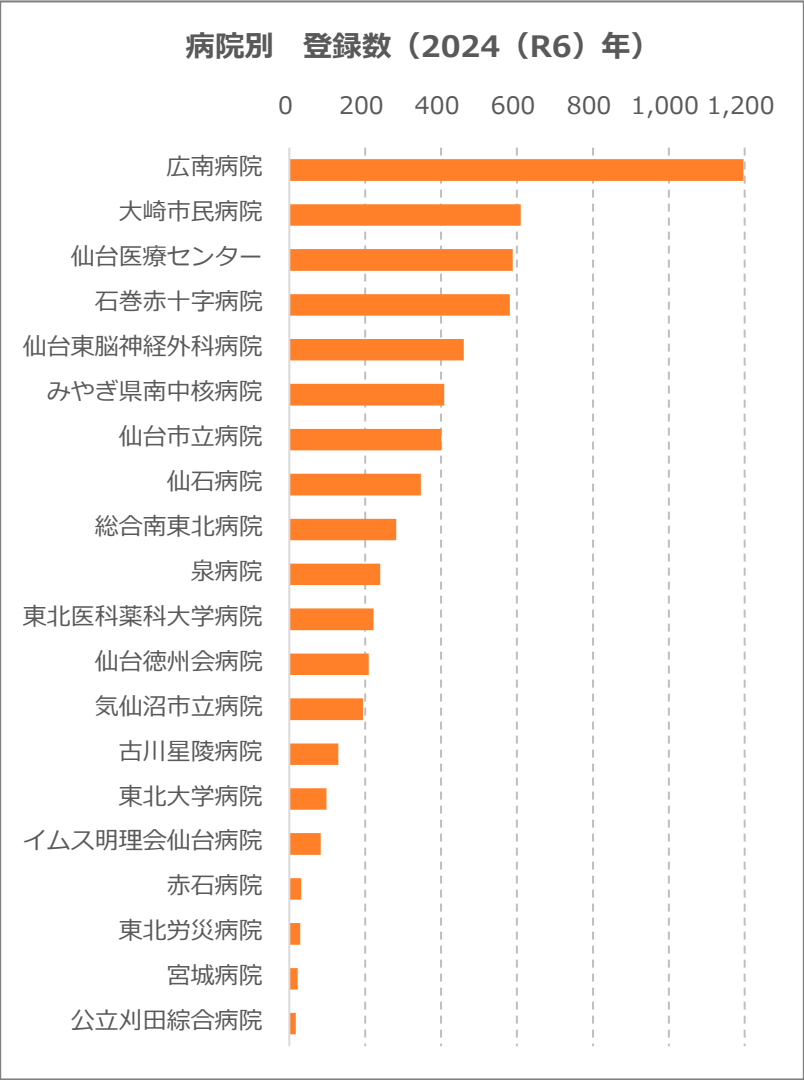
（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

脳血管疾患発症患者登録

宮城県脳卒中発症登録

病院名	2022年	2023年	2024年	備考
広南病院	1,315	1,154	1,197	一次脳卒中センター（コア）
大崎市民病院	563	612	610	一次脳卒中センター
仙台医療センター	678	674	589	一次脳卒中センター（コア）
石巻赤十字病院	610	587	581	一次脳卒中センター
仙台東脳神経外科病院	448	472	460	一次脳卒中センター
みやぎ県南中核病院	426	369	408	一次脳卒中センター
仙台市立病院	91	85	401	一次脳卒中センター（※）
仙石病院	323	345	347	
総合南東北病院	306	320	282	一次脳卒中センター
泉病院	171	267	240	
東北医科薬科大学病院	44	199	222	一次脳卒中センター
仙台徳州会病院	174	158	209	
気仙沼市立病院	141	194	194	一次脳卒中センター
古川星陵病院	139	150	129	
東北大学病院	85	88	98	一次脳卒中センター
イムス明理会仙台病院	93	78	83	
赤石病院	33	27	31	
東北労災病院	40	34	29	
宮城病院	40	43	22	
公立刈田総合病院	16	16	17	
坂総合病院	－	－	－	（登録なし）
計	5,736	5,872	6,149	

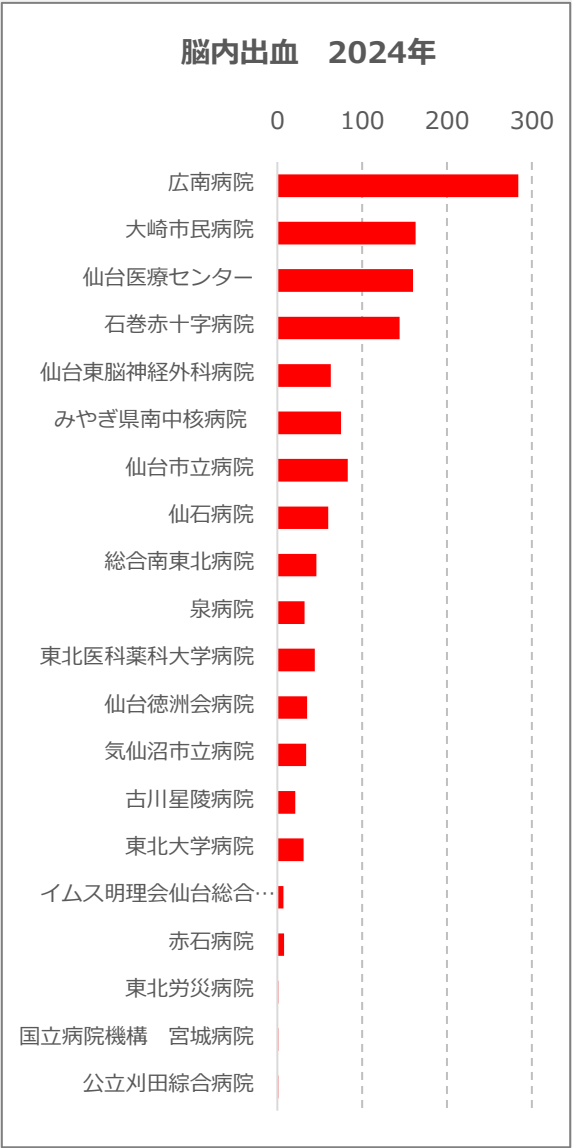
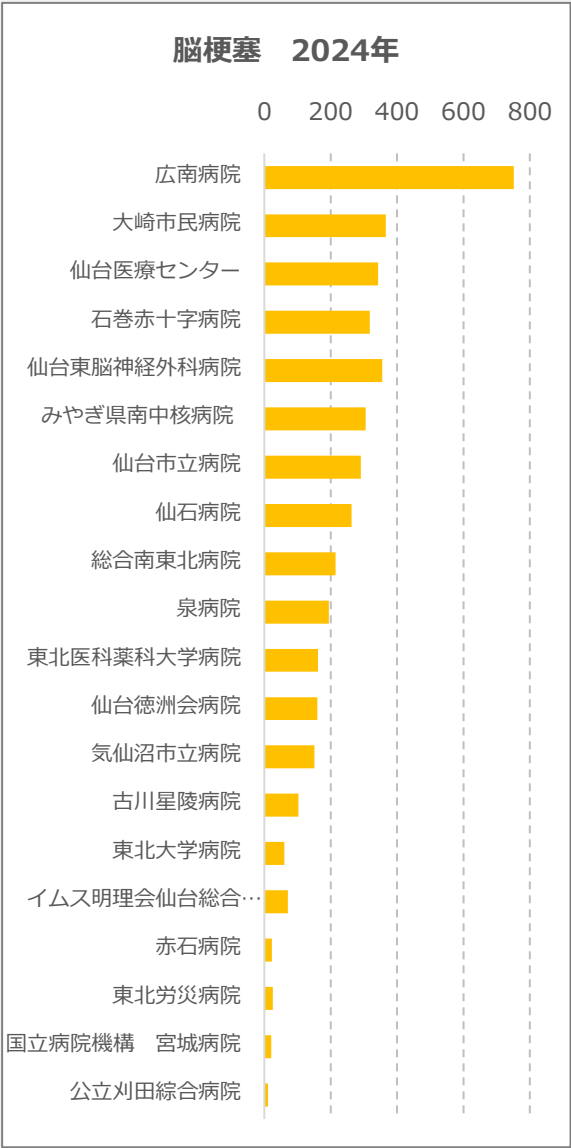
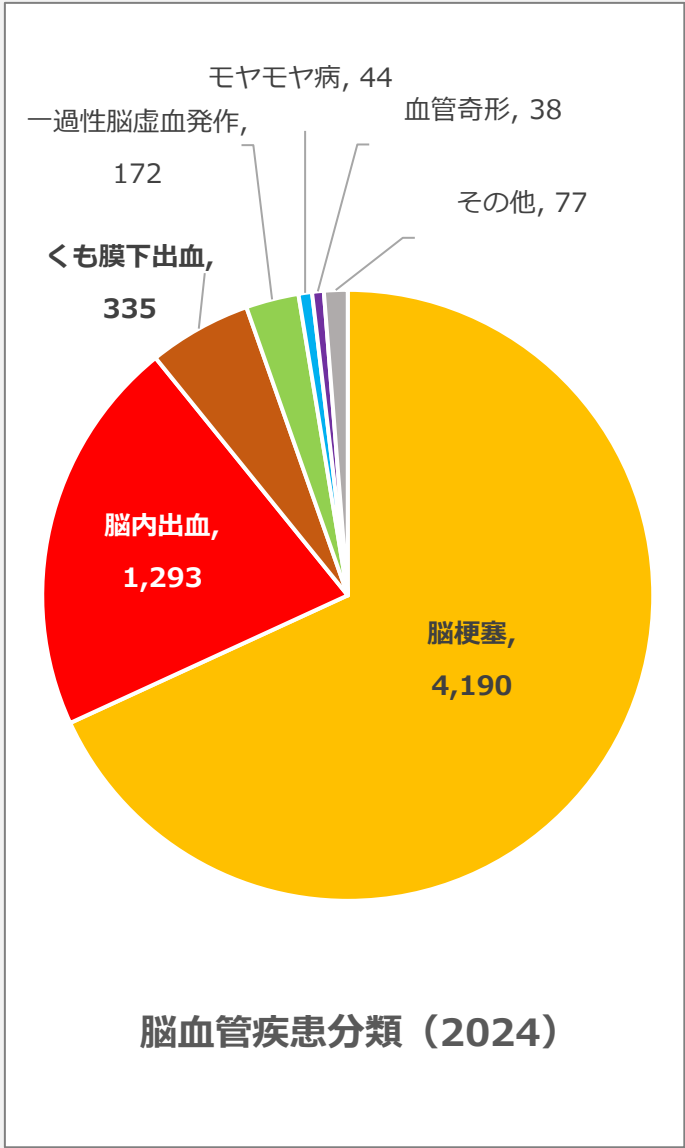
宮城県対脳卒中協会への委託事業



一次脳卒中センター：一般社団法人日本脳卒中学会の認定基準（24時間365日脳卒中患者を受け入れなど）を満たした医療機関
2022年と2023年の仙台市立病院の登録数は、病院全体のデータが含まれていなかったため少なくなっている。

出典 宮城県脳卒中発症登録 2023年（公益財団法人宮城県対脳卒中協会）

脳血管疾患発症患者登録による病気分類

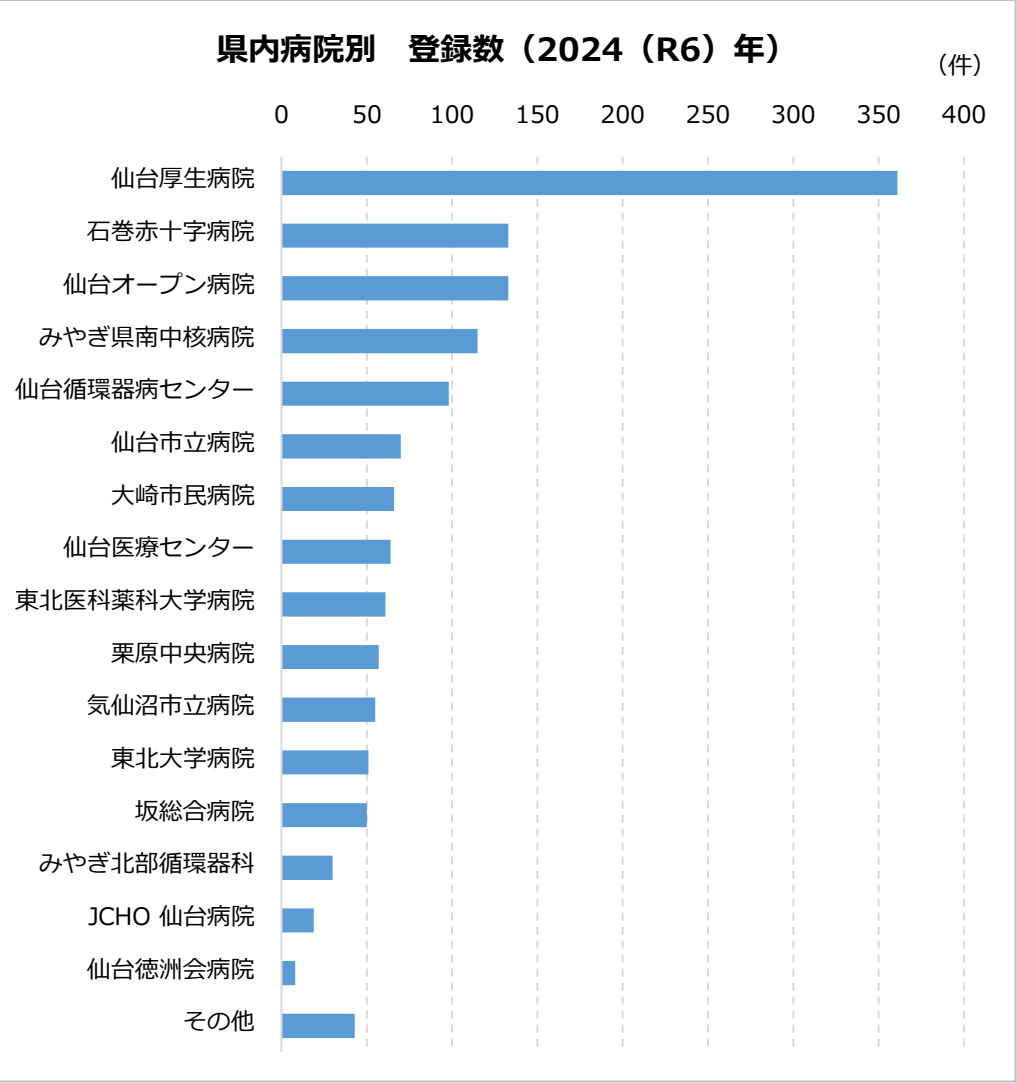


急性心筋梗塞患者登録

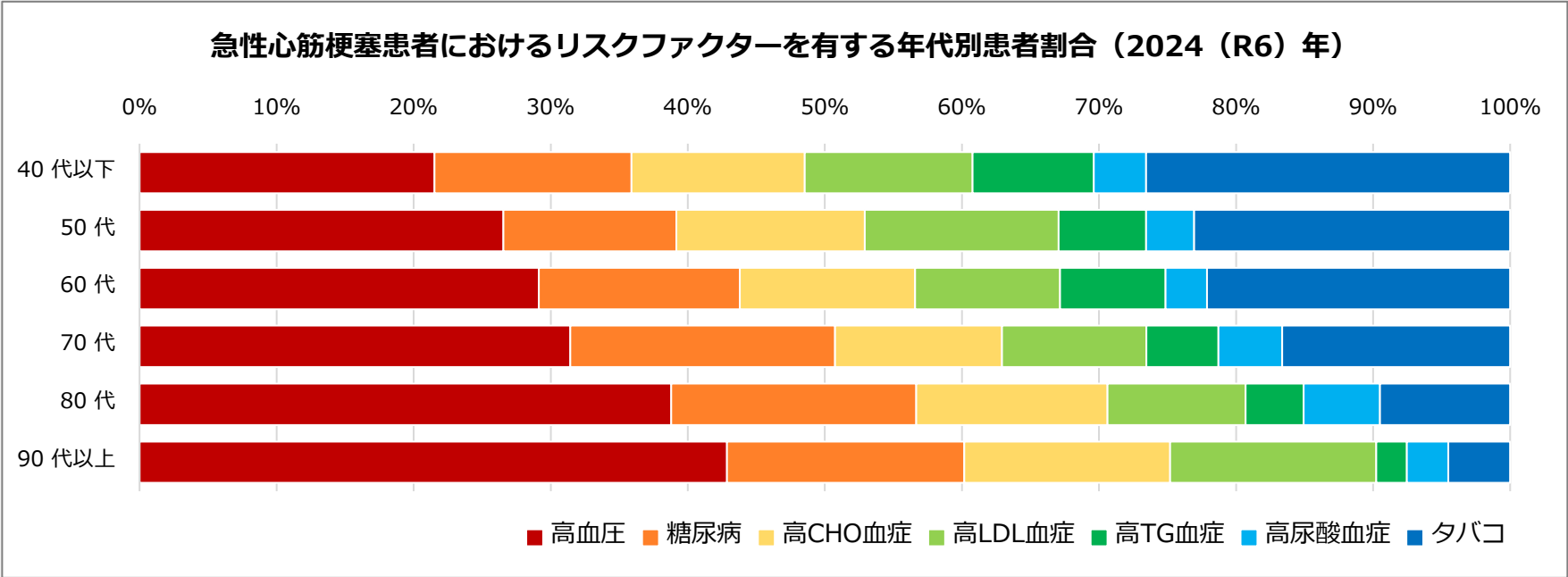
宮城県医師会への委託事業

宮城県急性心筋梗塞患者登録数

病院名	2022年	2023年	2024年
仙台厚生病院	350	321	361
石巻赤十字病院	108	107	133
仙台オープン病院	138	124	133
みやぎ県南中核病院	99	95	115
仙台循環器病センター	84	82	98
仙台市立病院	98	89	70
大崎市民病院	52	54	66
仙台医療センター	64	58	64
東北医科薬科大学病院	62	85	61
栗原中央病院	65	45	57
気仙沼市立病院	43	46	55
東北大学病院	45	46	51
坂総合病院	43	50	50
みやぎ北部循環器科	44	39	30
JCHO 仙台病院	19	12	19
仙台徳洲会病院	42	37	8
その他	22	14	43
計	1,378	1,304	1,414



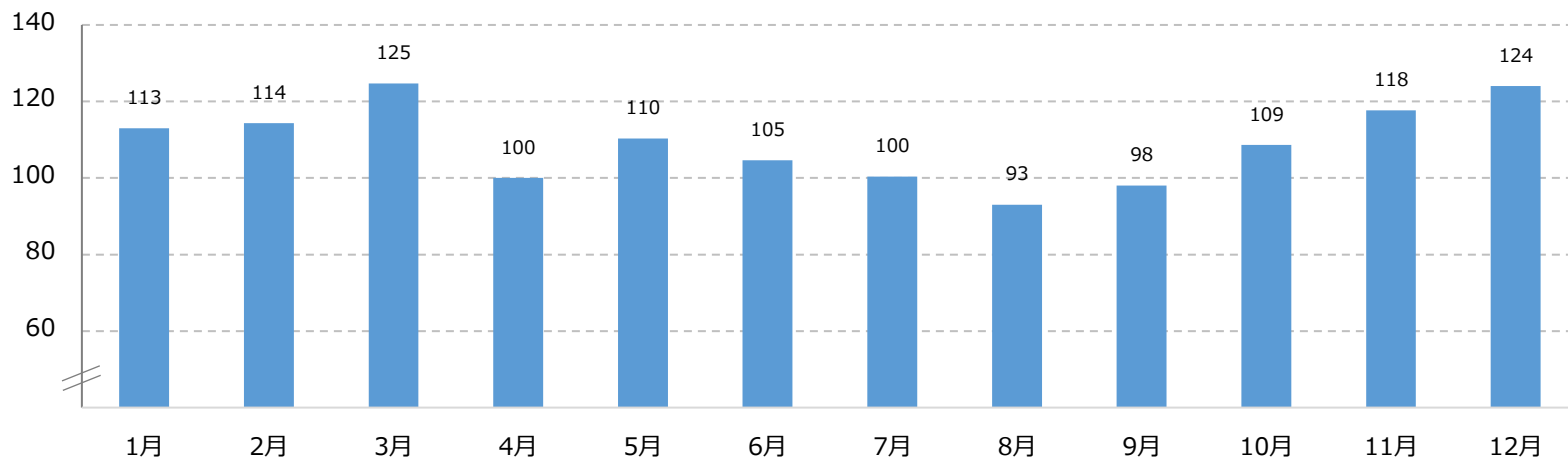
急性心筋梗塞患者登録によるリスク分析



年 齢	総患者数	高血圧	糖尿病	高CHO血症	高LDL血症	高TG血症	高尿酸血症	タバコ
40 代以下 （ 割 合 ）	94 100%	51 54.3%	34 36.2%	30 31.9%	29 30.9%	21 22.3%	9 9.6%	63 67.0%
50 代 （ 割 合 ）	192 100%	137 71.4%	65 33.9%	71 37.0%	73 38.0%	33 17.2%	18 9.4%	119 62.0%
60 代 （ 割 合 ）	282 100%	212 75.2%	107 37.9%	93 33.0%	77 27.3%	56 19.9%	22 7.8%	161 57.1%
70 代 （ 割 合 ）	421 100%	304 72.2%	187 44.4%	118 28.0%	102 24.2%	51 12.1%	45 10.7%	161 38.2%
80 代 （ 割 合 ）	343 100%	273 79.6%	126 36.7%	98 28.6%	71 20.7%	30 8.7%	39 11.4%	67 19.5%
90 代以上 （ 割 合 ）	76 100%	57 75.0%	23 30.3%	20 26.3%	20 26.3%	3 3.9%	4 5.3%	6 7.9%
合 計 （ 割 合 ）	1,408 100%	1,034 73.4%	542 38.5%	430 30.5%	372 26.4%	194 13.8%	137 9.7%	577 41.0%

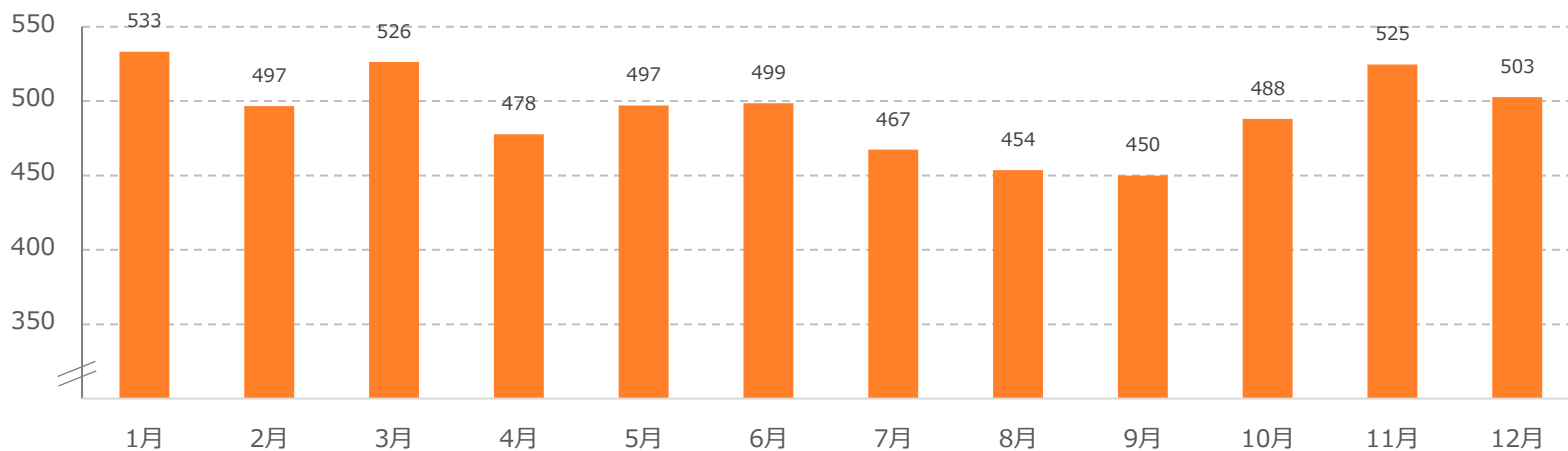
(参考) 各登録からの分析

宮城県 急性心筋梗塞発症数（月別：2021-2023：過去3年平均）



出典 宮城県急性心筋梗塞調査報告（2021，2022，2023）から集計

宮城県 脳血管疾患発症数（月別：2022-2024：過去3年平均）



出典 宮城県脳卒中発症登録（2022，2023，2024）から集計